

9月の 園便り

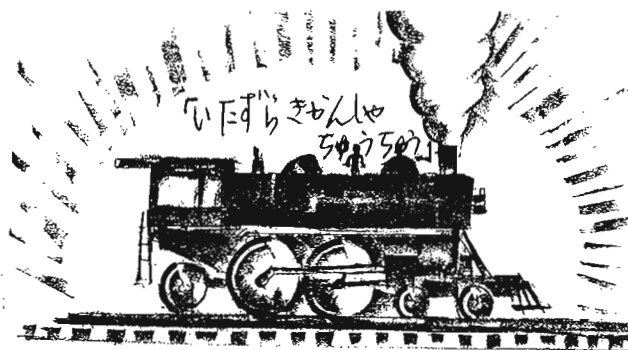
20年 新潟青陵幼稚園 加藤由美子

長い夏休みをお子さんに添って過ごされた保護者の皆様お疲れ様でした。幼稚園でも、プールに付き添われる姿、お子さんと一緒にお弁当を食べていらした姿なども見られました。保護者の皆様との密接な時間は子どもたちにとって自分を支える重要な土台となります。困難に出会った時にそれを乗り越えようとする力は、こうして保護者の皆様からいただくものですね。

A君がブランコに乗りたくて待っていました。「あ～あ、まだかな～」といいながらブランコの支柱に手をかけて、その周りを回りはじめました。「まだかな～」といいながら待っていたときに、ブランコの支柱に耳をつけてみたのでしょうか。突然、A君が「あ！海賊船の音だ！海賊船の音がするよ！」といったのです。その言葉に刺激されて、どんな音がするのか聞きたくなって、私も支柱に耳をつけてみました。すると・・・本当に“海賊船の音！”なのです。途切れ途切れに聞こえる、ギィ～～～という音は、確かに波もない静かな海に浮かぶ薄気味悪い船の音なのです。支柱に耳をつけて きしんだ船の音を聞いていると、不思議なことに、青くてひろ～い海が見えてきます。想像力豊かな子どもたちなら、きっと大きな船に乗ってひろ～い海へ冒険の旅に出かけることができるのでしょうか……海賊船ごっこが始まり……宝物を探しに船に乗り込み航海に出る……望遠鏡をのぞいて遠い海原に無人島を見つける……なんて楽しいのでしょうか！！ 「こうした子ども特有のファンタジーは、事物に“たましい”を吹き込み、そして変容させる、この意志的な性質をもったファンタジーは、やがて大人になると自発性や創造力となる」とシュタイナーはしています。 子どもの遊びは、真剣な仕事であり、充実した学びなのです。子ども時代に真剣に集中して遊ぶことが、大人になってから人生や仕事に積極的に取り組む力になるのです。

“現代は、遊ぶことができない子どもたち、すぐに退屈する子どもたち、ただ騒ぐだけの子どもたちが多く見られるようになった”といわれています。でも、そういう子どもたちが多くなったのは、子どもを取り巻く環境＝社会のあり方が原因なのです。子どもには大人とは違った環境が必要なのです。何がふさわしいのか、どういう環境が必要なのか、私たち幼児教育に携わるものが発信していかなければならないと思っていますのです……遊べない子どもたちにしてしまわないように……

さて、幼稚園は廊下が越後杉でおおわれ明るくきれいになりました。越後杉は赤ちゃんの肌のように柔らかなピンク色！子どもたちはきっと杉の木の壁面を全身で感じてくれることでしょう。子どもの感性に働きかける環境になりました。



20年9月の予定

日	曜	給食	降園時間	行 事
1	月	×	11:30	第二学期始業式
2	火	×	11:30	午前保育です。
3	水	○	2:00	給食が始まります。お箸ランチョンマットのご用意をお願いいたします。
4	木	○	2:00	
5	金	○	2:00	
6	土	/	/	体験入園を行ないますので自由登園はお休みです。
7	日	/	/	
8	月	○	2:00	
9	火	○	2:00	
10	水	○	2:00	
11	木	○	2:00	
12	金	○	2:00	
13	土	/	/	第2土曜日
14	日	/	/	
15	月	/	/	敬老の日
16	火	○	2:00	
17	水	×	11:30	誕生会です。9月生まれさんの保護者の方と一緒に祝いましょう。
18	木	○	2:00	
19	金	○	2:00	
20	土	×	11:30	自由登園日
21	日	×	11:30	なかよしカーニバルをお行ないます。
22	月	/	/	振替休日です。
23	火	/	/	秋分の日
24	水	○	2:00	関屋中学の生徒さんが職場体験にきます。
25	木	○	2:00	関屋中学の生徒さんが職場体験にきます。
26	金	×	2:00	どんぐり拾いに出かけます。詳細は後日お便りでお知らせいたします。
27	土	/	/	第4土曜日
28	日	/	/	
29	月	○	2:00	
30	火	○	2:00	